

つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画

再検討説明会



平成30年10月14日
つくばみらい市

「目次

1. 適正配置の目的
2. これまでの経緯
3. 再検討の理由
4. 再検討の内容
5. 再検討スケジュール
6. アンケート集計報告
 - アンケート概要
 - アンケート結果
7. 子ども（0～14歳）の状況
8. 質疑・意見交換



1.適正配置の目的

子どもたちの未来社会を切り拓くための

資質・能力 **『生きる力』** を育てる

■ 主体的な学び

- 子どもが学びに興味や関心を持って向かう学びの場

■ 対話的な学び

- 他者の考えと交流しながら自分の考えを広げる学びの場

■ 深い学び

- 各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる学びの場

子どもの年齢に応じた教育・環境を
すべての子どもたちに公平に提供する

2.これまでの経緯

平成21年10月	義務教育施設適正配置審議会発足
平成23年9月	つくばみらい市内の中学校の再編に関する検討 《答申》小中学校の適正規模：小学校を1学年2学級以上/中学校を1学年3学級以上
平成25年	市民意識調査
平成26年8月	みらい平地区における2校目の小学校建設に関する検討 《答申》みらい平地区に2校目となる(仮称)富士見ヶ丘小学校を設置する
平成27年11月	つくばみらい市内の中学校の再編に関する検討 《答申》小学校を6校へ、中学校は既存の4中学校を前提とした再編とする
平成27年12月	『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画（案）の説明会
平成28年1・2月	パブリックコメントの実施
平成28年3月	つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画策定
平成28・29年度	各小学校区ごとの意見交換会

3.再検討の理由

■ 小学校の適正配置

- 複式学級が発生している
- 小学校の統廃合が進んでいない

■ 中学校の適正配置

- 中学校の配置は既存の4中学校のまま
- みらい平地区の中学校建設が未検討

■ 公立幼稚園のあり方

- 幼児教育ニーズの多様化

■ 統廃合スケジュール(平成28年3月現在)を再検討

学校名	年次	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	備考
板橋小学校★									H31年度 ★：存続校を表す。
東小学校									統合予定
谷井田小学校★									H32年度
三島小学校									統合予定
豊小学校									
谷原小学校★									H33年度
十和小学校									統合予定
福岡小学校									
陽光台小学校★									H34年度
小張小学校									統合予定
小絹小学校									統合対象外

実効性のある
適正配置計画に
再検討します!



幼児期から義務教育を通して
一貫した教育・支援体制を確立する

4.再検討の内容

- 複式学級が発生している学校の早期解消
- 1クラス20人程度の小規模校の対応
- みらい平地区への中学校の建設検討を含めた中学校の配置計画
- 小学校統廃合スケジュール
- 公立幼稚園の運営方法と施設規模・配置

つくばみらい市の10年・20年先の将来を見据え、公立幼稚園及び義務教育施設の適正配置に再検討

5.再検討スケジュール

平成30年度

- 適正配置計画再検討説明会（本日）
- 適正配置審議会及び学区審議会（10月から）

「公立幼稚園及び義務教育施設適正配置計画書（素案）」の公表

（※以下「適正配置計画書」と表記）

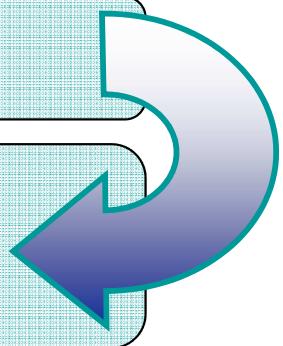
平成31年度

- 適正配置審議会及び学区審議会
- 適正配置計画書（素案）に対する意見交換会（5月から7月頃）
- 適正配置計画書（素案）の修正（8月頃）
- 適正配置計画書（修正案）に対する意見交換会（9月から11月頃）
- 適正配置計画書（修正案）の再修正（12月頃）
- 適正配置計画書（再修正案）パブリックコメント（意見公募）（1月頃）

「公立幼稚園及び義務教育施設適正配置計画書」の策定

平成32年度

平成32年度以降 学校統廃合の実施



6.アンケート集計報告①

■アンケート概要

➤調査の目的

本計画の再検討のための参考資料とする目的を以て、市民を対象としたアンケート調査を実施しました。

➤調査方法

- | | |
|----------|-----------------|
| 1) 調査対象者 | 市内在住の全市民 |
| 2) 調査方法 | 調査票を全戸配布 |
| 3) 調査期間 | 平成30年7月25日～9月2日 |

➤配布・回収状況方法

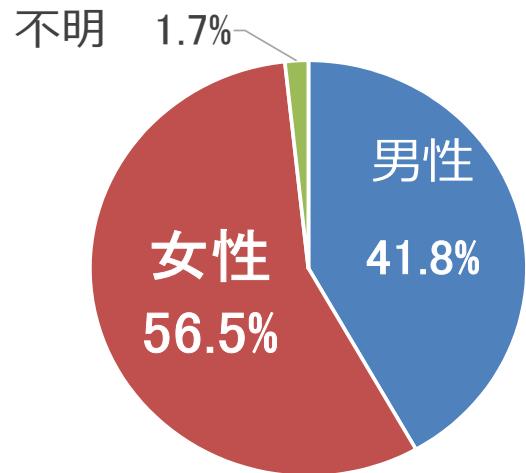
配付数：19,459票 回収数：232票

➤アンケート調査項目

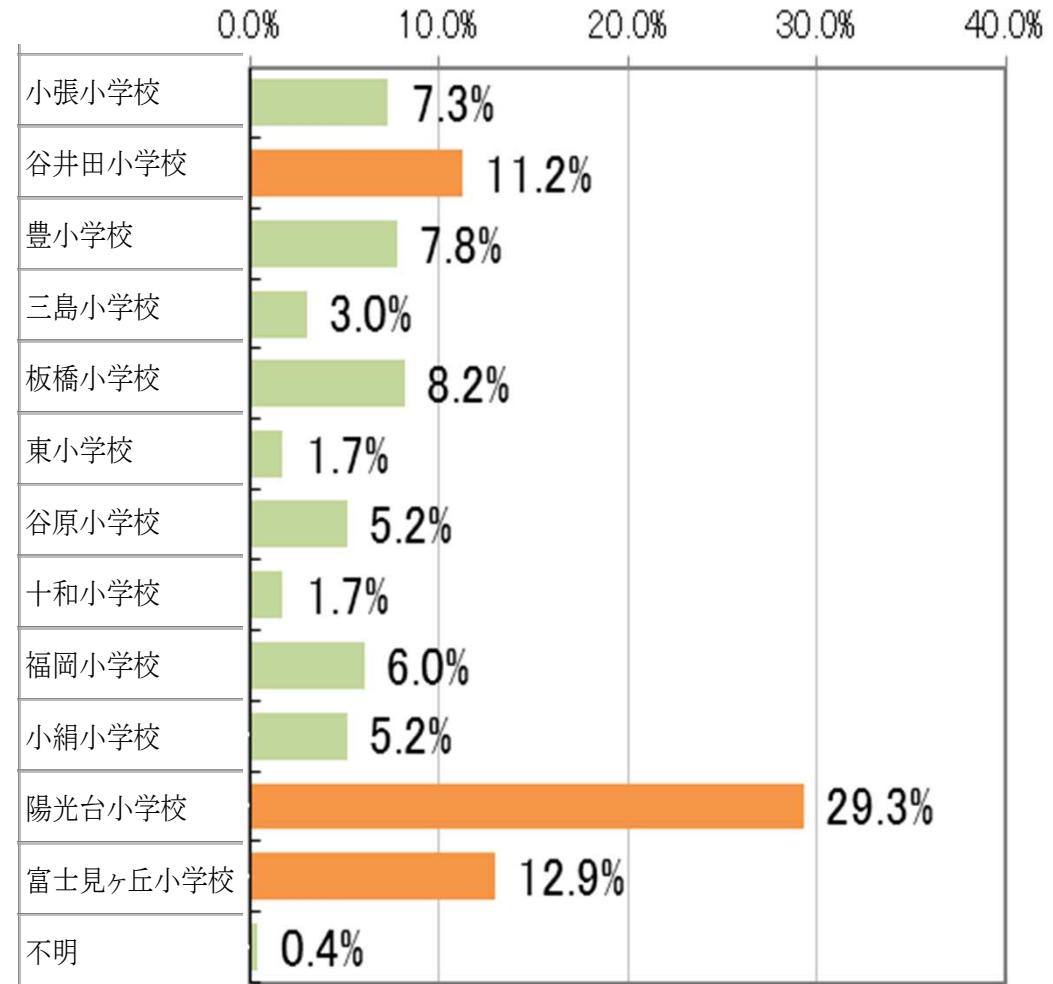
性別／年代／居住地区の小学校／最もふさわしい1学級の児童生徒数（小学校・中学校）／最もふさわしい同一学年の学級数（小学校・中学校）／統合が必要な児童生徒数／統廃合の賛成・反対とその理由／自由意見

6.アンケート集計報告②

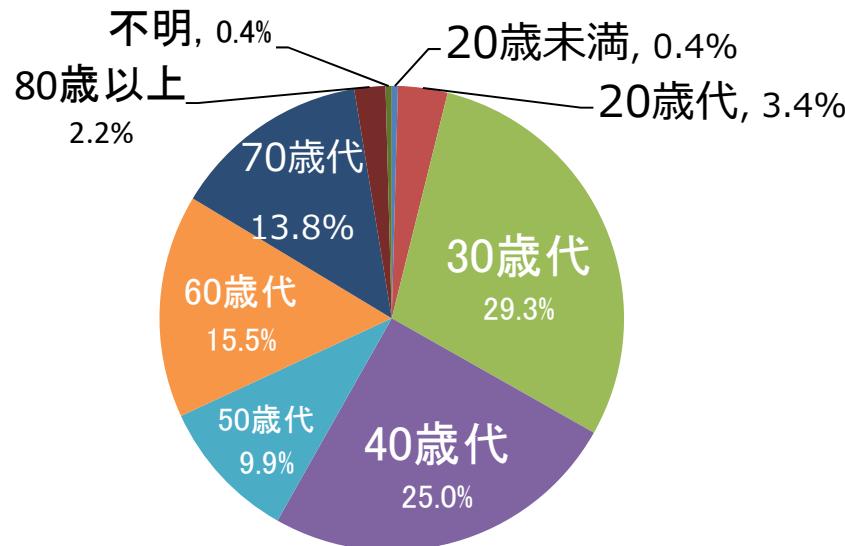
■問1 性別



■問3 居住地区

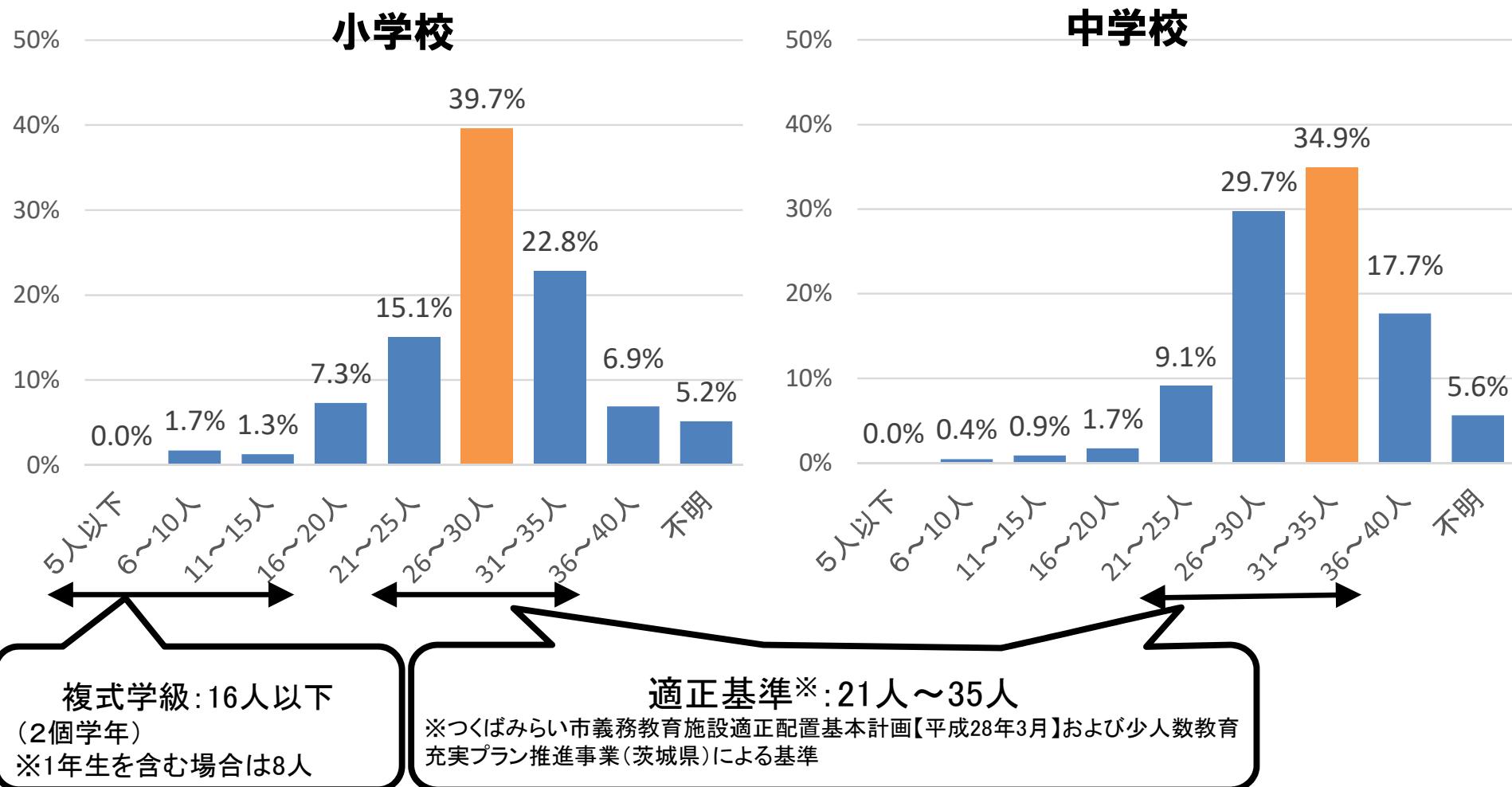


■問2 年代



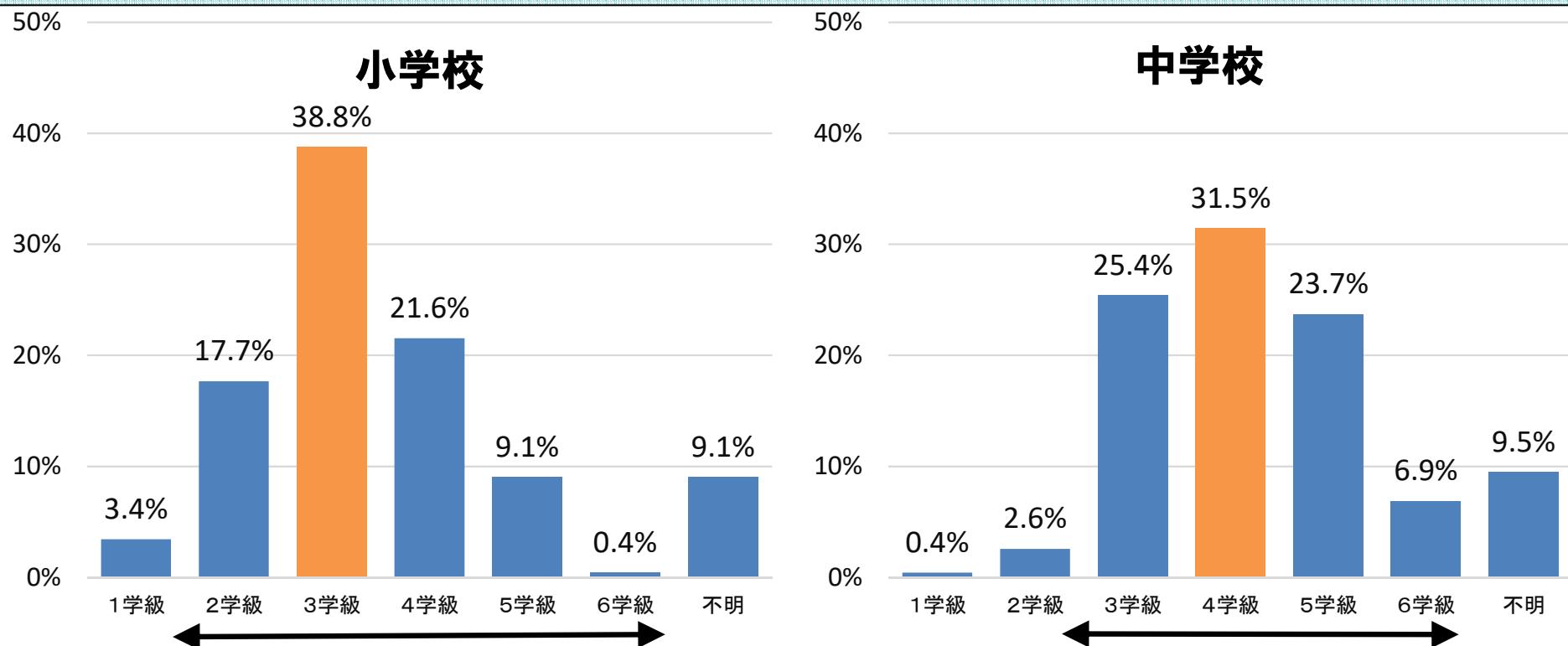
6.アンケート集計報告③

■問4 あなたが子どもたちの教育環境として、最もふさわしいと思う「1学級の児童生徒数」は何人ですか。



6.アンケート集計報告④

■問5 あなたが子どもたちの教育環境として、最もふさわしいと思う「同一学年の学級数」は何学級ですか。

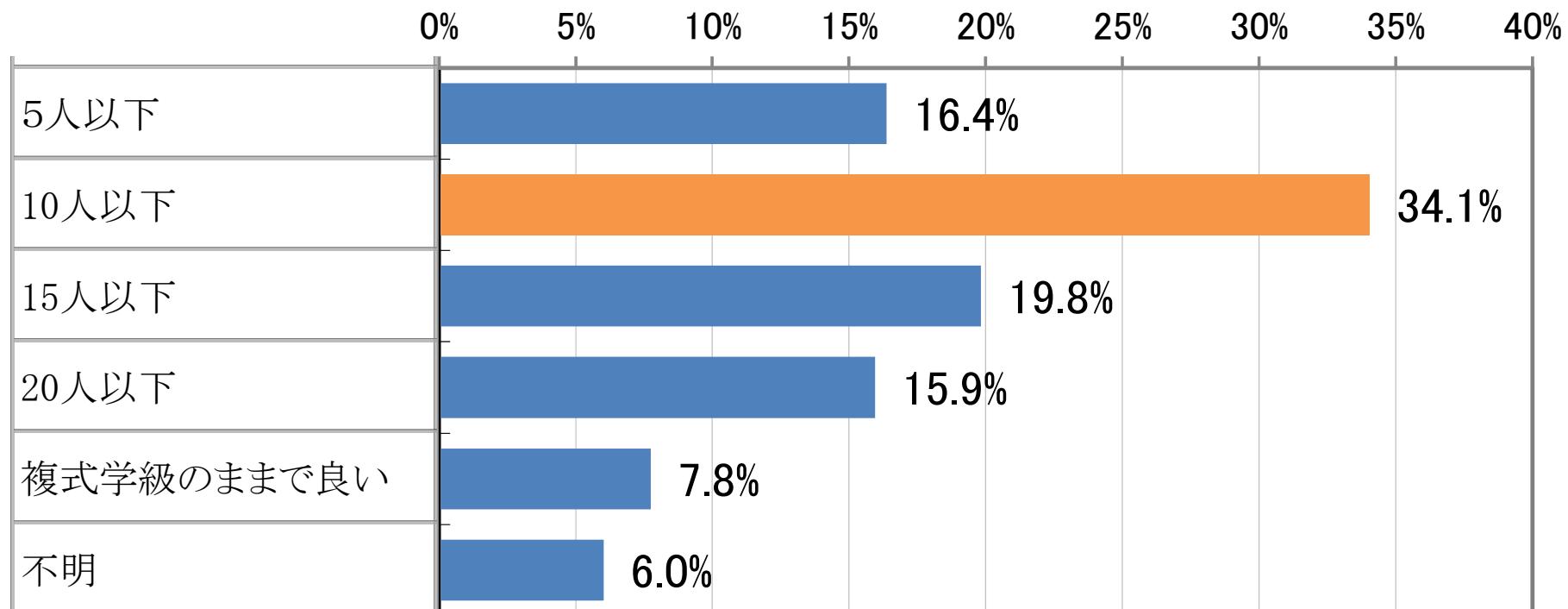


適正基準※：2学級～(小学校) 3学級～(中学校)

※つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画【平成28年3月】による基準

6.アンケート集計報告⑤

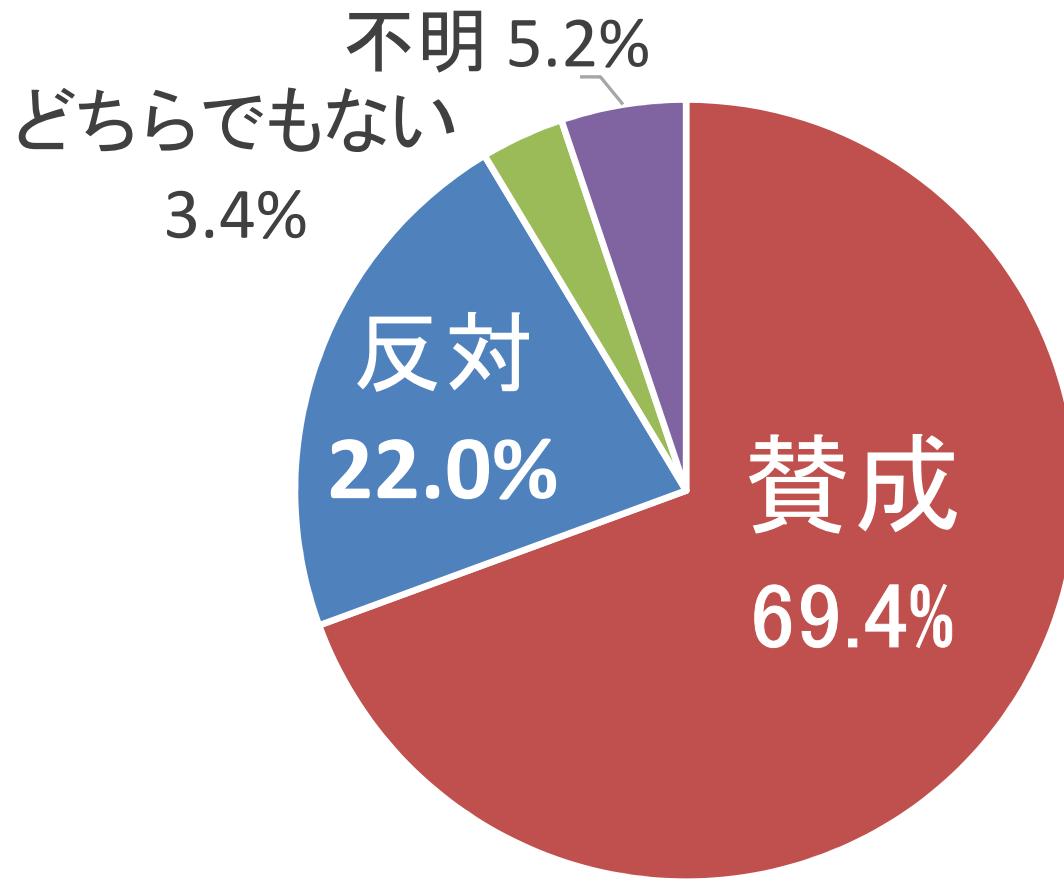
■問6 あなたは「一つの学年の児童生徒数」が何人以下になつたら学校の統合が必要だと思いますか。



- ✓ 「10人以下」が34.1%、次いで「15人以下」が19.8%となっています。

6.アンケート集計報告⑥

■問7 あなたは学校の統廃合に「賛成」ですか。それとも「反対」ですか。



6.アンケート集計報告⑦

■問8 学校の統廃合に賛成または反対の理由をお聞かせください。 (自由記述) 【主な意見(抜粋)】

賛成の理由

【教育環境の視点】

- ✓ 人数が少ないと可能な教育活動が制限されてしまう。(教育・学習・行事)
- ✓ 年齢にふさわしい教育を一番に考えてほしい。(教育・学習・行事)
- ✓ 小学校期において1学年の差は大きく、個々の学年で学ぶべきこともあると思う。(教育・学習・行事)

【学級人数の視点】

- ✓ たくさんの人とコミュニケーションをとることができ、色々な思考や価値観に触れることができる。(人間関係・社会性・いじめ)
- ✓ もし、いじめなどがあってもクラス替えで対応できる。(人間関係・社会性・いじめ)

【通学環境の視点】

- ✓ 通学距離は遠くなるが、スクールバスで対応すべき。(通学・防災・安全)

反対の理由

【教育環境の視点】

- ✓ とても少ない人数ながら、全学年楽しい学校生活を送っている。(人間関係・社会性・いじめ)
- ✓ 市内において地域格差が生じても、小規模特認校や複式学級のある小規模校を目指しても良い。(教育・学習・行事)
- ✓ 小学校は地域にとって重要なコミュニケーションの拠点。(歴史・伝統)

【学級人数の視点】

- ✓ 小規模校へ通いたい児童を募って小規模校の人数を増やしてほしい。(計画・学区・進め方)
- ✓ 個々に目が行き渡らない事になるのは親として不安になる。(バランス・規模・人口)

【通学環境の視点】

- ✓ 学校が遠くなると保護者の負担が多くなり、児童にとつても負担となる。(通学・防災・安全)

6.アンケート集計報告⑧

■問9 義務教育施設適正配置基本計画の再検討に対するご意見をお聞かせください。（自由記述）【主な意見(抜粋)】

【適正配置について】

スピード感をもって進めてもらいたい。／統合するのかしないのかをはっきりさせてほしい。／子どものことを一番に考えてほしい。

【通学について】

統廃合の際は、スクールバスの検討を。／自転車通学は危険なため、道路整備をしてほしい。

【中学校について】

みらい平地区に早急に中学校を建設してください。／みらい平に中学校をつくるのは反対です。／欲しいものは「中学校」ではありません。保育や幼教施設です。

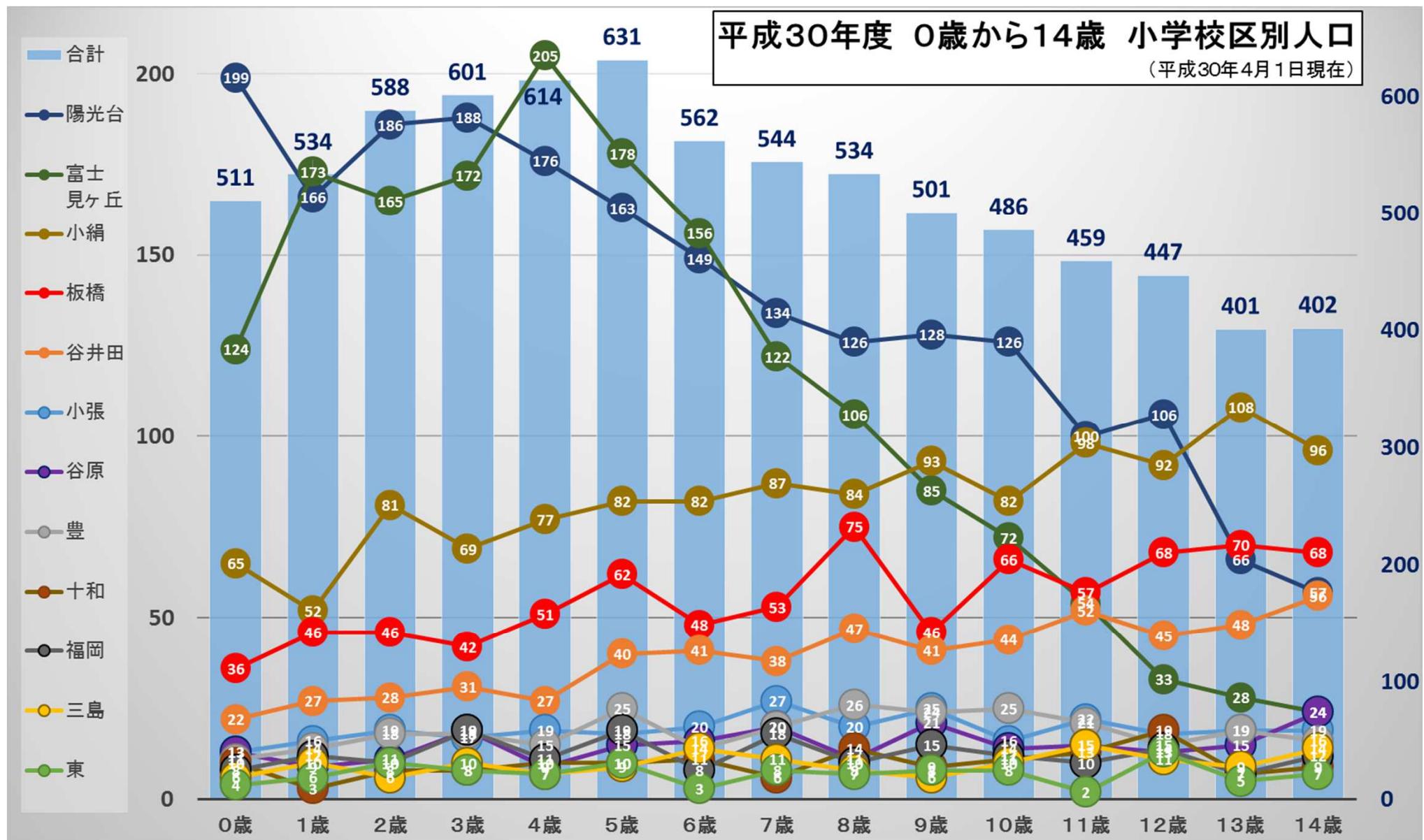
【跡地利用について】

人口が減って、見直しは必要だが、その後の使用方法等考えるべき。

【地域について】

過去の歴史、伝統よりも将来性を重視してほしい。／地域の方とのつながりや伝統なども大事にしてほしい。

7. 子ども（0～14歳）の状況



8.質疑・意見交換

※メモとしてご使用ください。

**本日は、ご来場いただきまして、ありがとうございました。
適正配置に関してご不明な点などがございましたら、
下記までお問合せください。**

つくばみらい市教育委員会
学校教育課 適正配置推進室
〒300-2395 つくばみらい市福田195番地
TEL 0297-58-2111（内線 7108・7109）

